

昭和57年度 和歌山県文化奨励賞

ごぼうぶん かざいけんきゅうかい 御坊文化財研究会

創 立：昭和40年

所 在 地：和歌山県御坊市

会 員 数：400名

◎業績及び経歴

昭和40年7月、文化財の調査研究とその活用を目的に日高郡内の文化財研究者等を中心に設立され、現在会員は400名にのぼり日高地方の古文書調査を既に100余戸の所蔵家について約10,000点の調査を完了した。

また、民俗調査として各地区へ出向き、聞き取り、録音調査等を行い多大の成果を収めている。

中でも文化財総合調査として、昭和51年の興国寺(由良町)、昭和52年の道成寺(川辺町)、昭和56年には興国寺の再度にわたる大規模調査を実施して、興国寺で約1,700点、道成寺で約1,500点の古文書等を収集し解明し目録化した。

昭和44年から刊行の機関誌「あかね」が10号を数え、新たに刊行した「あかね文化財」も2ヶ年を迎え、同会の事業計画および文化財等調査概報を掲載し広報紙として活用されている。

会員による日高郡内の古道調査および熊野古道調査(日高町、御坊市、印南町、南部町)を踏査調査し、今後「古道の現状と変遷」として発表する。

また、県内・外の文化財を訪ね現地研修を実施する他、県移動民俗芸能大会への積極的な参加、県指定文化財保存調査および遺跡発掘調査への協力を行っている。